

(様式)

化学委員会・総合工学委員会・材料工学委員会合同触媒化学・化学工学分科会小委員会の設置について

分科会等名：エネルギーから見た持続可能社会構築に関する検討小委員会

| | | | | | | | | |
|------|-------------------------------------|---|------|------------|-----------|----|--|--|
| 1 | 所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。) | ○化学委員会、総合工学委員会、材料工学委員会 | | | | | | |
| 2 | 委員の構成 | 10名以内の会員、連携会員又は会員若しくは連携会員以外の者 | | | | | | |
| 3 | 設置目的 | <p>持続可能な社会のあるべき姿を、エネルギー関連技術の観点から議論し、設計していくことの重要性が高まり、いくつかのシナリオの下にエネルギー需給見通しや必要なエネルギー政策が報告されている。しかし、その実現性や経済性を十分検討する必要がある。持続可能社会を構築するためには、個々のエネルギー関連技術の開発状況を十分に理解した上で、将来的に実装可能なエネルギー技術や利用システムを予測・選択し、それらを持続可能性の観点から最適化することで、豊かで安心な暮らしを実現する理想のエネルギー利用社会モデルを設計していく必要がある。</p> <p>本検討小委員会では、このシナリオ実現に必要な各要素技術・資源情報に関して、分野横断的な連携を通して知の統合を図る。そして、持続可能性に関する俯瞰的・多角的視点から評価軸を設定し、持続可能な社会構築に必要なエネルギー技術・利用システムの選択・最適化に取り組み、実装可能なエネルギー技術で築く理想の社会モデル設計に関する研究活動を行う。</p> | | | | | | |
| 4 | 審議事項 | <ul style="list-style-type: none">・エネルギー関連の各要素技術や資源情報の統合・持続可能性に関する評価軸の設定・実装可能なエネルギー技術と利用システムの選択と最適化・理想の社会モデルの設計と評価・提言 | | | | | | |
| 5 | 設置期間 | <table border="1"><tr><td>時限設置</td><td>25年 6月28日～</td><td>26年 9月30日</td></tr><tr><td colspan="3">常設</td></tr></table> | 時限設置 | 25年 6月28日～ | 26年 9月30日 | 常設 | | |
| 時限設置 | 25年 6月28日～ | 26年 9月30日 | | | | | | |
| 常設 | | | | | | | | |
| 6 | 備考 | | | | | | | |